

社会福祉施設等の水害対策に関する提言への追加意見

長野県立総合リハビリテーションセンター 所長 清野良文

1. 台風が近づいたら対策本部設置

① サブチーム作成 A 患者対応 B 機器の保全 C 情報収集、外部との連携

浸水 → 停電、断水を念頭 避難所の確認

外来、デイサービス中止の決定 帰宅可能な患者に準備を依頼

② 災害対策本部のハード整備

車のガソリン補充

災害用発電機 携帯電話の充電機

電子カルテ プリンター コピー機 患者紹介に必須

固定電話（独立回線）FAX テレビ 情報からの孤立

WiFi モバイルルーター ネットにつながるパソコン

③ 患者情報まとめ

処方薬2週間分確保 薬手帳（処方内容）

患者情報サマリー作成（既往歴 手術歴 日常生活動作） 紹介状作成

④ 避難の判断

A 帰宅可能な患者 外泊、早期退院 機器：上層階へ移動

B 垂直避難 2階への浸水は生命の危機 → 救援ボート 自衛隊

C 水平避難（立ち退き避難）

2. ネットからの情報収集 周知

① 千曲川河川事務所のホームページ

・千曲川 犀川の水位観測所（杭瀬下や立ヶ花など）の水位レベル（避難判断 氾濫危険）

② 気象庁のホームページ 防災情報

・キキクル（危険度分布）指定河川洪水予報

・雨雲の動き 今後の雨 大雨危険度

3. 行政に向けた提言 自助の不備で逃げ遅れ → 共助による支援体制

・DMAT 災害派遣医療チーム 自衛隊 広域救急車 警察

・救援ボートの確保 平時より地域の消防と使用法確認

・電源車 USB 充電器 WiFi モバイルルーター

※県リハを災害時の福祉避難所として整備し活用

処理に困る残土を運び込み、道路から病院へのアクセスを浸水から守る